

心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

慌ただしい年の瀬となりました。朝夕の冷え込みも厳しくなり冬が駆け足でやつて来ました。皆様お元気でしょうか。街では歳末商戦で一段と熱をおび賑わう季節です。

熱をおびると言えば、三年後の東京オリンピック開催ですがスポーツ会場施設の突貫工事も進んでおり、日本の若い選手が活躍してくれることを願うばかりです。クーベルタンの「健康な身体に、健康な精神を宿さなければならない」という有名な言葉を再確認し、コーチも選手も正々堂々とルールを守つて競技を闘つて欲しいですね。

今年もふり返れば様々な災害や事件が有りすぎて、すべてが遠い過ぎるように感じられ、我が身内におこつた悲しい不幸だけがいつまでも心中に刻まれ、他人の不幸はすぐに忘れる自分が悲しいな。

6月5日午後9時半過ぎに神奈川県大井町の東名高速道路のパークング・エリアで乗用車の止め方を注意した萩山嘉久（45）さんに腹を立てた石橋和歩容疑者（25）が、妻の萩山友香（39）さんが運転するワゴン車を高速度で追走し、約1.4キロも「あたり運転」をして停車させ、嘉久さんの胸ぐらをつかんでいるとき、後方から来たトラックに追突事故をされました。萩山夫婦は死亡、娘2人が怪我をするとい

悲しみに涙

かな

なみだ



カット：本多絵子

う悲惨な事件に対し横浜地検は10月31日に石橋容疑者に、より罰則の重い危険運転致死傷と暴行の罪で起訴しました。高速道路での「あおり運転」や危険な運転をする人が増えているので、運転手は車に『ドライブ・レコーダー』が今や必需品ですが、それにしても車を運転する人と温和しい性格が急に豹変する人もおり、恐ろしいことです。

仏教の言葉に「外面如菩薩 内面如夜叉」とあります。外見は菩薩様のように優しく見えるが、内面は夜叉（鬼）の如く恐ろしいという意味で、人間ほど外面と内面が違うものはないという譬えです。自分が損をすれば腹を立て、自分に利益や得をもたらすものにはニコニコして菩薩様のような優しい顔になる。いつも自己中心でこの世を渡

りうとすると、人に嫌われ地獄の世界に墮ちますよ。

宮沢賢治の有名な『雨ニモマケズ』の詩に「雨ニモマケズ 風ニモマケズ 雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ 丈夫ナカラダヲモチ 欲ハナクゼニ ヨクミ キキシワカリ ソシテワスレズ……略……ホメラレモ増ト少シノ野菜ヲタベ アラユルコトヲ ジブンヲカンジョウニ入レズニ ヨクミ キキシワカリ ソシテワスレズ……略……ホメラレモ実に平明で素朴で純粹な願いに、愚僧はいつも感動します。

現代の若者の多くは「雨をキレイ 風をキレイ 雪にも夏の暑さにも負けぬ身体を持ちながら 欲も多く 些細なことにも怒り そのくせいつもすましている 玄米飯ではおさまらず 味噌と野菜だけでは満足せず あらゆることを自分を勘定に入れて よく見きらず聞ききらず中途半端な理解して 都合の悪いことは記憶喪失……略……甘やかされ大事にされなければ生きられない」という詩になるのかな。

愚僧の父の時代は日本が貧しく「親孝行したいときには親は無し」と歎いていたが、今の日本は長寿社会で老々介護の時代「親孝行したこととしての優しさを失いつつあり残念ですね。合掌（奥原 曇龍）



第335号 行真宗寺

奥原 曙龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



ともしび説法

カット：奥原 綾

日時・十二月二十一日「木曜日」午後一時から午後四時頃まで
一月 一日「月曜日」午後一時から午後四時頃まで
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話 086-420-1311

ともしびを読みたい方、
お寺についてもっと知りたい方

心光寺 倉敷 検索



お釈迦様ものがたり(14)

お釈迦様が若い頃から虚弱体質で沈思黙考を好む性格となつたのは、生母の摩耶夫人が自分を生んで七日目に亡くなつたことが強く影響しているようです。

十歳前後の頃、父の淨飯王に連れられ農耕祭に出席したとき、多くの牛が犁をつけて田を耕すの眺めていた。冬の寒さから暖かい春のきさしが感じられ、鋤起された土の中からミニズや虫けらが掘りだされ、それを見つけた小鳥がついばみその小鳥を猛鳥が襲うがたを見て、弱肉強食の生き物の世界に思い悩んだという話もあります。

釈迦族の王子として、贅沢で優雅な生活をさせて貰つていたが、老いた人や病氣で苦しむ人を見ると、自分も老い衰えたり病み苦しむのではなかろうかと真剣に悩み、母のようにいつ死ぬかもしれない、生きること、老いること、病むこと、死にゆくことへの恐怖の感受性がきわめて鋭敏な少年だった。

父王は王子の心を慰めるために、ときどき城外の遊園地に遊ばせるが、ある時に東の門から出ると腰が曲がり歯の抜け落ちた白髪の老人を見て引き返し、南の門から出ると病み衰え苦しみ喘ぐ病人を見て引き返し、西の門から出ると死者を囲み悲嘆の涙にくれる人々を見て引き返し、北の門から出ると出家沙門が世俗のあらゆる欲を離れ優雅静かな姿を見て大いに感動したという、四門出遊の物語に託し王子の出家の動機を描写しています。

お釈迦様は十六・十七歳頃に結婚したのですが、結婚後十年もたつてから第一夫人のヤソーダラー(耶輸陀羅)に初めて一子が生まれます。男子出産の報を聞くと「困ったことだ。愛着が生まれ、悟りの妨げとなる」と言つたので、子供の名を「悟りの妨げ」という意味のラーフラ(羅喉羅)とつけられたと言われています。二十九歳のとき突然、王妃と子供を残し出家します。合掌(奥原暉龍)

ともしびの明かりに誘われ除夜の鐘泣いて笑つて今年も暮れる

田辺多恵子

除夜の鐘悩みをつつみて暮れていく

強く優しく心に響く

倉敷市中島

山田 孝治

十一月三日の法要の昼休みに、本堂の後ろで組紐の作品を並べ、また制作の実演をさせていただき、多くの方から好評を得ましたので、本当に感激しています。

倉敷市東粒浦 古谷 洋子

お寺では年末の大掃除、三十日の餅つきや大晦日の除夜の鐘の恒例行事、また元旦は説法と続き、総代さんや門信徒の皆様には大変お世話になります。大晦日は午後十一時より法要、十一時四十分より除夜の鐘。

心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子
師走に入り、何かと気ぜわしい毎日ですが、皆様お風邪は大丈夫でしょうか。
お寺では年末の大掃除、三十日の餅つきや大晦日の除夜の鐘の恒例行事、また元旦は説法と続き、総代さんや門信徒の皆様には大変お世話になります。大晦日は午後十一時より法要、十一時四十分より除夜の鐘。

★ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさん費用がかかります。賛助会員になつて下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



11月3日 報恩講法要にて(法中方)

ともしび説法

日時・十二月二十一日「木曜日」午後一時から午後四時頃まで

一月 一日「月曜日」午後一時から午後四時頃まで

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ)本堂にて

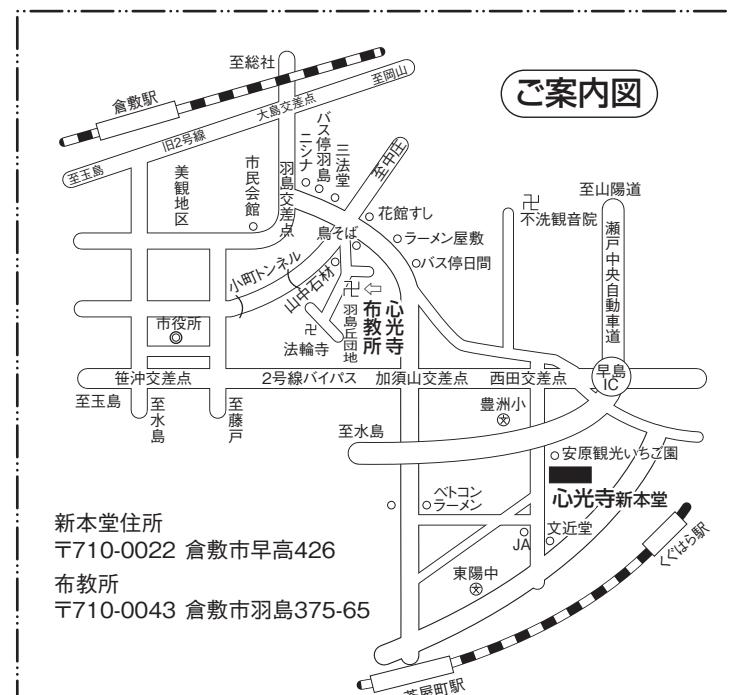
電話・(086-420-1311)

駐車場有り

(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

二月 六日(火)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
三月 七日(水)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
四月 十五日(日)・午前十時半から午後四時・早高の本堂。



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。



カット:吉岡美枝

〒710-0022 倉敷市早高426

浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

この うたの詩
今年も一年が嵐のように過ぎる
あいたい人やものに会つておこう
いつ死んでもいいように
惜しまれても惜しまれなくとも
憂いのない人生
笑顔をたやすく
自分らしく最期まで



★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「335号」となりました。心光寺は、誰でも気軽にお来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅に12時30分にお寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方はお寺まで、ご連絡を下さい。合掌 心光寺 総代長 三村健

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしょうにん)です。

お葬式の時にあわてて葬儀屋さんに紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。